

地方創生拠点整備交付金及びまち・ひと・しごと創生寄附活用事業実施報告

1. 事業の概要

事業名	王越宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」 改修整備事業及び設備整備事業
計画期間	①改修整備事業：平成29年度～令和3年度（5カ年） ②設備整備事業：平成30年度～令和2年度（3カ年）
総事業費 (うち拠点整備交付金及び地方創生応援税制適用の寄附額)	①改修整備事業 2,889,000円 (地方創生拠点整備交付金：1,319,625円) ②設備整備事業 7,060,800円 (地方創生応援税制適用の寄附額：1,000,000円)
全体事業の概要	<p>王越宿泊型野外活動施設「交流の里 おうごし」は、主に青少年を対象とした宿泊型野外活動施設であるとともに、にぎわいづくりや地域交流の場として開設された。現在、地域住民が「王越町共に生きるまちづくり推進協議会」を立ち上げ、王越町の活性化及び魅力発信を主な目的として、トンボウォッチング等の活動を行っており、今回の施設改修により、地域住民が長期に渡って活躍できるような拠点となるよう整備するものである。</p> <p>当該事業により施設の機能性および利便性を向上させ、主な利用者である青少年や各種団体の利用増を図るとともに、上記の活動に加え、季節に応じたイベントの開催（例：自然観察会、ピザ窯を使った体験教室）が可能となることで、王越町の更なる魅力発信及び活性化に繋げる。併せて、施設内の清掃等を含めた施設の管理業務委託、ひいては将来的な指定管理を地域住民が担うことにより、地域住民による自立化した運営の確立を目指す。</p> <p>また、本施設においては空調設備が十分に備わっておらず、特に夏場の利用に際しては、多くの利用者から改善要望があり、設備の不十分さが原因で、市内外の団体利用に結びつかず利用機会を損なっているケースが多いことから、実際の利用者から要望が寄せられている空調設備を備えることで、市内外からの利用者の増加に繋げる。</p>
事業の内容① (改修整備計画)	<p>(1) ピザ窯用小屋新築工事 実際に利用している利用者や地元団体からの要望を踏まえ、雨天時や冬季においても地元団体による体験教室（ピザ作り教室）を実施できるよう、ピザ窯全体を囲う小屋の整備を実施する。</p> <p>(2) 体育館トイレ改修工事 体育館や周辺での活動時においては体育館のトイレを使用するが、和式便器のため、ウォシュレット型洋式便器へ取替える。（男子1基・女子1基）</p>
事業の内容② (設備整備計画)	「交流の里 おうごし」の宿泊室にエアコンを3台設置する。

2. KPI（重要業績評価指標）

年 度	H28	H29	H30	R1	R2	最終年度目標値
王越宿泊型野外活動施設 「交流の里 おうごし」 の利用者数（人／年度）		3,843人	3,636人	3,208人	1,476人	令和3年度に3,000人 ※令和6年度に4,000人（第2期坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略）
王越宿泊型野外活動施設 「交流の里 おうごし」 の市外からの利用者数 （人／年度）	平成29年4月開設のため、実績値なし	950人	289人	620人	176人	令和2年度に1,300人
王越宿泊型野外活動施設 「交流の里 おうごし」 の利用料収入 （円／年度）		744,555円	593,060円	562,350円	178,095円	令和2年度に950,000円

3. 事業経費の内訳

計画名	事業内容	経費内訳
王越宿泊型野外活動施設 「交流の里 おうごし」 改修整備計画	1. ピザ窯用小屋新築工事	1. 直接工事費 1,853,280円 2. 共通仮設費 63,720円 3. 現場管理費 158,760円 4. 一般管理費等 35,640円 合計 2,111,400円 うち、地方創生拠点整備交付金充当額 (1,055,700円)
	2. 体育館トイレ改修工事	1. トイレ改修工事一式 777,600円 うち、地方創生拠点整備交付金充当額 (263,925円)
王越宿泊型野外活動施設 「交流の里 おうごし」 設備整備計画	1. エアコン整備工事	1. エアコン整備工事一式 6,760,800円 うち、地方創生応援税制適用の寄附額 (1,000,000円)
	2. とんぼランド整備事業	1. 補助金 300,000円

4. 事業の成果及び今後の方針

担当課	成果及び今後の方針
生涯学習課	<p>改修により、天候に左右されることが無くピザ窯の使用計画を立てることができるようになったことから、体験教室（ピザ作り教室）の回数を増やし施設の利用増に繋げる。また、体育館や野外での活動時に使用する体育館のトイレの洋式化を行ったことで、施設利用者の利便性を高めることができた。令和2年度は運動場にテント用ウッドデッキを増設するとともに、屋外調理場にピザ窯を作成した。今後も、宿泊型野外活動施設としてだけでなく、にぎわいづくりや地域交流の拠点となるように努めていく。</p> <p>また、設備整備計画では、利用団体や地元団体から要望の出ている宿泊室へのエアコンの設置を行い、特に夏期における利用者の利便性を高めることができ、利用者からも好評を得ている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として、地域創生臨時交付金を活用し手洗器自動化工事を行った。</p> <p>また、王越地区の魅力を発信していくため周辺施設の「王越とんぼランド」の整備も行うとともに、施設の利用者に提供する体験プログラムを増設した。</p> <p>なお、利用者数の状況については、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度と比較して大幅な減少となっている。</p>